

国立公園を彩る至宝

米国の国立公園制度の下にある公園はいずれもユニークだ。地質に特色がある、自然が驚くべき様相を示している、この素晴らしい土地とそれをひとつの国に作り上げた人々の物語の一部を伝える重要な歴史的出来事の舞台である、などそれぞれ独自の特徴を持っている。Eジャーナル本号「国会遺産としての国立公園」では、そうした物語のいくつかを伝えるとともに、「創造の精神を吹き込まれた新しい天国、新しい地球」とかつて評した人もいる、素晴らしい眺めの一部を紹介する。



© AP Images/Wilfredo Lee

フロリダ州にあるエバーグレイズ国立公園の雑木林の茂みを飛びはねる2羽のトキ。このトキは、くちばしが赤いのが特徴で、米国南部から南米北部にかけて生息している。



© AP Images/Charlie Tasnadi

首都ワシントンにあるワシントン記念塔（左）とジェファーソン記念館。手前に見えるのは、日本から贈られた桜の木で、春に短期間開花する。この2つの記念建造物は、国立公園に指定されているナショナル・モールの一部である。



© AP Images/Chuck Brown

ハタラス岬国定海岸の名所となっている19世紀の灯台。レンガ造りの灯台としては世界一の高さを誇る。同国定海岸は、連邦議会が国立公園の地位を与えた最初の海岸で、米国大西洋岸の細長い砂州島に張り付くように広がり、面積は1万2000ヘクタールを超える。行楽客や漁業者を喜ばせる一方で、渡り鳥が羽を休める重要な場所にもなっている。



© AP Images/Douglas C. Pizac

グランドティートン国立公園。氷河の後退により残された湖から急にそびえたつ、のこぎりの歯のようにとがった山々で知られる。ワイオミング州にあり、イエローストーン国立公園に近接している。



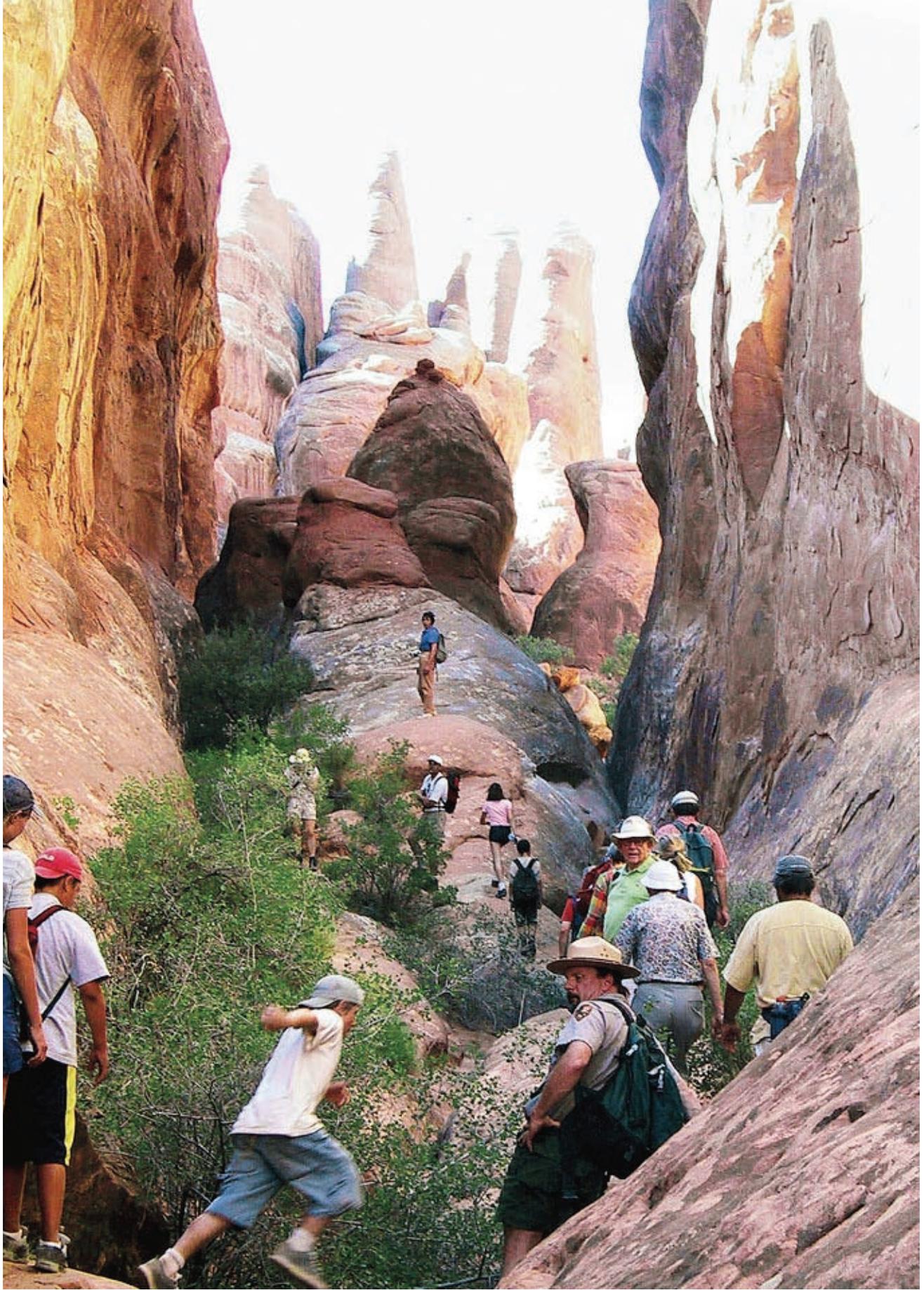
© AP Images/US, Fish and Wildlife Service, William Campbell

このハイロオオカミは首輪に無線発信機をつけており、イエローストーン国立公園の生物学者たちがその生態をモニターしている。ロッキー山脈のハイロオオカミの数を回復する取り組みが10年以上にわたって行われた結果、この伝説的な肉食動物は2008年に絶滅危惧種リストから外された。



© AP Images/News & Observer, Jim Bounds

米国大西洋岸のアトランティック・シーボードの砂州島を走り回る野生の馬。この野生馬の群れはノースカロライナ州にあるケープ・ルックアウト国立公園のシャックルフォード・バンクスで撮影された。これらの野生馬の管理は国立公園局と民間の財団が共同で行い、一般の人々に引き取られることもある。



© AP Images/The Salt Lake Tribune, Judy Fahys

ユタ州にあるアーチズ国立公園の岩に登る来訪者を指導するパークレンジャー。同公園の奇観は何百万年にもわたって起きた地質学的な出来事を示し、天然のアーチの密度では世界一。

メイン州の岩だらけの海岸にあるアカディア国立公園は、ミシシッピー川以東では初の国立公園。先見の明のある環境保護論者が、20世紀初頭の開発がこの地域の自然美を侵食しているのを見て、国立公園をつくるため米国政府に土地を寄付した。

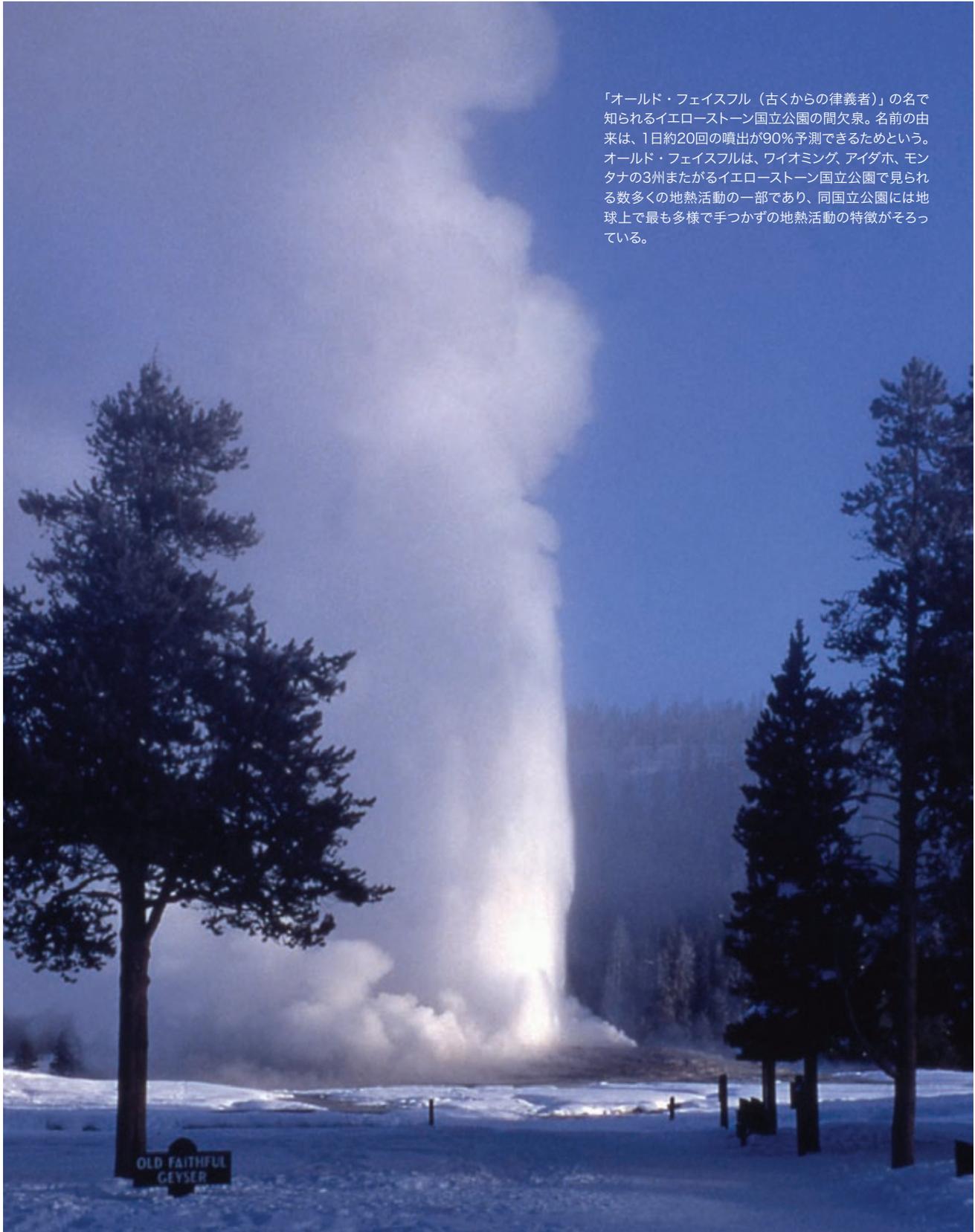


National Geographic/Getty Images



NPS Photo by Peter Craig

アメリカ・サモア国立公園の海中を泳ぐシマハギ (*Acanthurus triostegus*) とチョウチョウウオの1種 (*Chaetodon ephippium*)。この太平洋の島の公園の暖かい澄んだ海には、1000種類近い魚が見られる。1993年に国立公園に指定され、米国の国立公園制度に旧熱帯区の雨林、太平洋の島の景観、サンゴ礁生態系が加わった。



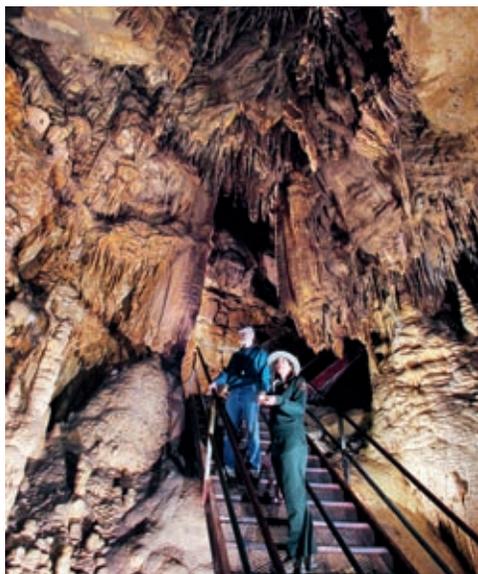
「オールド・フェイスフル（古くからの律義者）」の名で知られるイエローストーン国立公園の間欠泉。名前の由来は、1日約20回の噴出が90%予測できるためという。オールド・フェイスフルは、ワイオミング、アイダホ、モンタナの3州またがるイエローストーン国立公園で見られる数多くの地熱活動の一部であり、同国立公園には地球上で最も多様で手つかずの地熱活動の特徴がそろっている。

NPS Photo by Sandi Kinzer



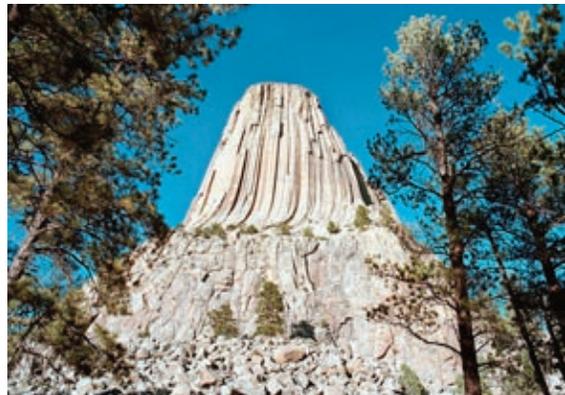
© AP Images

テネシー州とノースカロライナ州の境にあるグレートスモーキー山脈国立公園。山々を覆う広大な森林から発生する霧（もや）に因んで、「グレートスモーキー」の名前がついた。同国立公園には、米国東部では最も原始状態にある様々な自然環境が残り、きわめて多様な動植物が生息する。米国文化の多様性を体験できるのもこの公園の魅力だ。この地にはかつてアメリカ・インディアン部族が住んでいた。西部への進出に伴って、冒険心にあふれる開拓者がこれらの山々を旅し、入植したこともある。



© AP Images/NPS, Garry Berdeaux

マンモス・ケーブ国立公園は世界最長の洞窟系で、そのうちの約600キロについて地図が作成されている。1000万年前に始まった地質学的な力の作用によって作られた、洞窟内のトンネルや部屋は現在も探査中であり、いつ終わるか分からない。



© AP Images/Gillette News-Record, Stephen Berend

デビルズ・タワー国定記念物はワイオミング州北東部にある。この塔の創造については、約20のアメリカ・インディアン部族に伝説が残っており、多くの部族が塔を神聖な場所とみなしている。1977年の映画「未知との遭遇」でも大きく扱われている。



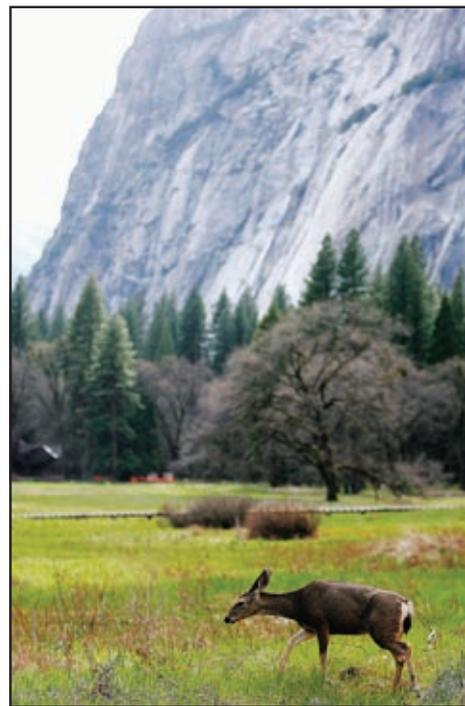
© AP Images/John Heilpinn

ユタ州にあるブライスキャニオン国立公園の呼び物は、風化と浸食の跡を示す不気味な地層の姿。



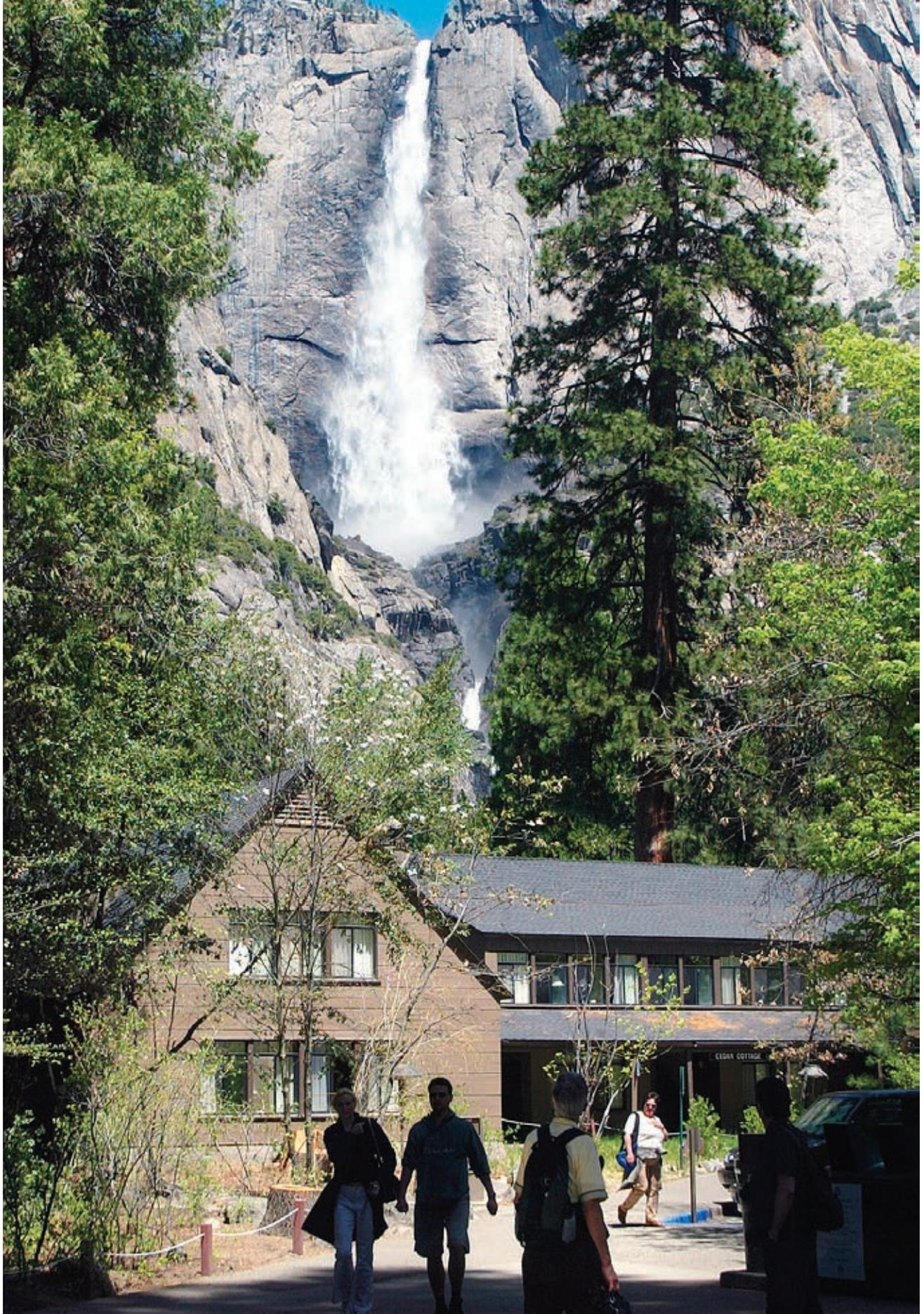
© AP Images/Ben Margot

ヨセミテ国立公園で特に人目を引くのは、エル・カピタンと呼ばれるこの絶壁で、ロッククライマーにとっての難関のひとつとして知られる。



© AP Images/jeff Chiu

カリフォルニア州のヨセミテ国立公園の草原では、シカを時々見かける。オオツノヒツジは人間が近づきにくい高山地帯の生息地を好むため、シカより見つけるのが難しい。ヨセミテでは、オオツノヒツジは生息数が少なく、絶滅危惧種とみなされている。



© AP Images/Fresno Bee, Mark Crosse

カリフォルニア州のヨセミテ国立公園では、川の流れが絶壁と出会って滝を作り、それが同公園の主な呼び物のひとつになっている。



© AP Images/Paul Hugas

露出した岩の上に立つ単独行のハイカー。場所はメイン州、3460キロにおよぶアパラチアン・トレイル（自然歩道）の最終区間にある。同トレイルは、アパラチア山脈に沿って南北に14州を縦断する世界最古の自然歩道であり、その踏破は米国のハイカーにとって究極の挑戦のひとつである。アパラチアン・トレイルと、カナダからメキシコまで総延長4186キロに及ぶパシフィック・クレスト・トレイルは、国定自然歩道制度法に基づく最初の保護の対象となった。